

キャロル・ロンバード

Carole Lombard

ジェーン・ピーターズ ☒ Jane Peters

生年月日 1908/10/06

出身地 アメリカ／インディアナ州フォートウェイン

没年 1942/01/16

ウィリアム・パウエル（元夫）
ウィリアム・B・ホークス（従兄）
関連人物 クラーク・ゲイブル（元夫）
ハワード・ホークス（従兄）

【バイオグラフィ】

■本名はJane Alice Peters。7歳の時に両親が離婚し母と共にL Aへ移住。そこでアラン・ドワン監督とご近所付き合いが始まり、21年「陰陽の人」への出演を誘われ映画デビュー。その後、高校と演劇学校に通い25年、FOXのカメラ・テストに合格。キャロル・ロンバード（Carol Lombard）として本格的にデビューを飾った。しかし自動車事故で左頬に傷を作ってしまう5年契約を取り消され、その後30年にパラマウントと契約して「令嬢暴力団」に出演。が、その時のポスターに“Carol”の後に間違えて“e”を付けられてしまったがそれをきっかけに以降は“Carole Lombard”と名乗るようになる。その後は知性に満ちた美しい顔立ちとユーモアのセンスを活かしてコメディエンヌとして活躍。代表作となった34年の「特急二十世紀」や36年の「檻樓と宝石」で高い評価を得た。私生活では31年にウィリアム・パウエルと結婚したが2年後に離婚。39年に絶頂期を迎えていたクラーク・ゲイブルと再婚。ゲイブルは彼女にベタ惚れだったという。が、42年、国債公募キャンペーンのために訪れたインディアナポリスからの帰路の途中、母やゲイブルのマネージャーなどと乗った飛行機がラスベガス近郊の山に激突し、帰らぬ人となってしまった。享年33歳。ゲイブルはそのあまりにも突然の別れに悲嘆にくれる日々を過ごしたという（この二人の恋物語は73年、「面影」として映画化されるほど有名な話）。

【フィルモグラフィ】

妖艶美女大全集／銀幕の女神たち（1965）	出演
喜劇の黄金時代（1957）	出演
生きるべきか死ぬべきか（1942）	出演
スミス夫妻（1941）	出演 :アン
病院の一夜（1940）	出演
貴方なしでは（1939）	出演
婚約リレー（1938）	出演
スイング（1937）	出演
真実の告白（1937）	出演
無責任時代（1937）	出演
檻樓と宝石（1936）	出演
春を手さぐる（1935）	出演
処女散歩（1935）	出演
姫君海を渡る（1935）	出演
ルムバ（1935）	出演
街で拾った女（1934）	出演

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています。

データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。

Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

恋と胃袋 (1934)	出演 : ドリス・ワーシントン
ギャングの花嫁 (1934)	出演
久遠の誓ひ (1934)	出演 : トニ・カーステアーズ・デイ
特急二十世紀 (1934)	出演
ボレロ (1934)	出演
鷲と鷹 (1933)	出演
競馬天国 (1933)	出演
殺人魔の魂 (1933)	出演
白い肉体 (1933)	出演
恋を喰べる女 (1932)	出演
紅蘭 (1932)	出演
心の青空 (1932)	出演
明日は晴れ (1932)	出演
街の紳士 (1931)	出演
失われし抱擁 (1931)	出演
悪魔が跳び出す (1931)	出演
成金ボーイ ニューヨークへ行く (1931)	出演
アリゾナ怪盗異聞 (1930)	出演
令嬢暴力団 (1930)	出演
浮かれ街道 (1928)	出演
完全なる犯罪 (1928)	出演
無頼漢 (1928)	出演
栄光への道 (1926)	出演
雷鳴轟く (1925)	出演
勇猛果敢 (1925)	出演
陰陽の人 (1921)	出演